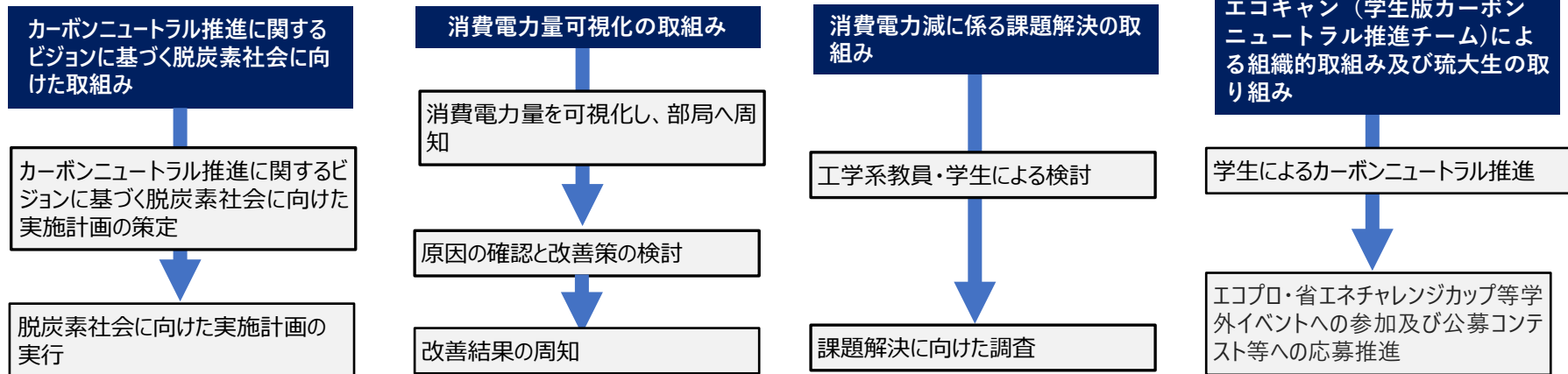


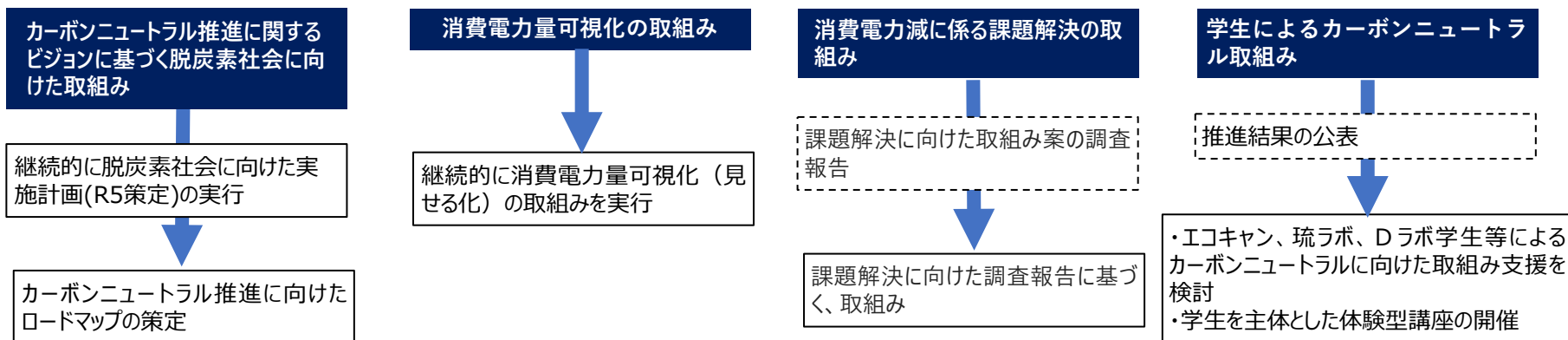
2024年度 カーボンニュートラル推進部門 SDGs取組全体像

は、R5着手した取組み
 は、R5持越しの取組み
 は、R6の取組み

2023年度



2024年度



[検 証] [改 良 ・ 改 善]

2025年度

全学的なカーボンニュートラルの推進

1. カーボンニュートラル推進に関するビジョンに基づく脱炭素社会に向けた取組み

- ・琉球大学カーボンニュートラル実施計画（R5.2.15策定）の実施
- ・カーボンニュートラル推進に向けたロードマップの策定に向け「琉球大学カーボンニュートラル推進ロードマップ策定支援業務」をR6.6.27に（株）東芝と契約締結した。
同契約に基づき、カーボンニュートラルに関心のある学生・教職員及びCN推進部門メンバーを対象に8/27～28にかけてワークショップを開催し、シナリオボードを作成して中間報告書（別紙）をとりまとめた。

2. 消費電力量可視化の取組み

- ・各部局毎の4～7月までの消費電力量をとりまとめ電気使用料の増減量を把握し、増加している部局に聞き取り調査を行った。10月に上半期報告（4～9月）として各部局へ周知予定。

3. 消費電力減に係る課題解決の取組み

- ・工学部改修事業等にて空調等の高効率機器への更新及び照明のLED化を実施中
- ・駐車場や附属学校校舎の屋上に太陽光発電設備増設の可能性について（株）TMEICや沖縄電力と調整を行った。

4. 学生によるカーボンニュートラルに向けた取組み

- ・7/6～7に開催された第18回環境マネジメント全国学生大会にエコキャン学生が参加し、基調講演や、各大学の活動報告等を通じて交流を図った。
- ・学生を主体とした体験型講座「2050カーボンニュートラルセミナー」を7/17に開催した。
- ・9/22に開催された第17回HESDフォーラムにエコキャン学生及び、大島先生が参加し、基調講演や、実践事例等を通じて交流を図った

目的：カーボンニュートラル推進するために、社会が変化する要因・兆しを広く捉えながら、具体的なアクション・施策の発想する場を設け、発想した内容や策定したロードマップに基づいて、実行レベルの戦略に落とし込んでいくにあたって、関係者と認識を合わせながら深掘りしていくための土台づくりの支援を行う。

期間：令和6年12月27日まで

概要：ロードマップ策定に向けた外部環境調査の実施を行ったうえで、2回のワークショップを開催、ロードマップ策定に向けた（1）シナリオボード、（2）アクションボードの作成を行う。上記（1）、（2）をもとに琉球大学様のカーボンニュートラル推進に向けたロードマップ策定の支援を行うもの

参加メンバー

チームA

まえひら たかひろ 眞栄平 孝裕	理学部 物質地球科学科物理系 教授
せなは いずる 瀬名波 出	工学部 エネルギー環境工学コース 熱流体工学 教授
たいりょう とうき 平良 東紀	農学部 菌糸帯生物資源科学科 教授
よね あつし 與那 篤史	工学部 工学科 准教授
たまき ひとし 玉城 均	施設企画課 課長代理
かよふ (むねやす) 嘉陽 宗康	人文社会学部 3年次 (エコキャン生委員会)

チームC

はが ふみひろ 羽賀 史浩	大学運営推進組織 研究推進機構 特命教授
はまだ えいさく 濱田 栄作	教育学部 理科教育 教授
なかがわ てつせい 中川 鉄水	理学部 海洋自然科学科化学系 准教授
くば まゆみ 國場 真由美	上原キャンパス事務部 企画課 経営分析係 係長
おう いじん 王 怡人	国際地域創造学部 国際地域創造学科 教授
いほ (きょうか) 伊保 京華	教育学部 1年次
まつもと 松本 望央	教育学部 4年次

チームB

おかもと まさこ 岡本 牧子	教育学部 技術教育 教授
おおしま じゅんこ 大島 順子	国際地域創造学部 国際地域創造学科 准教授
たましろ ゆういち 玉城 佑一	施設企画課 環境・施設マネジメント室 活用推進係 主任
ちばな やすし 知花 恭史	財務部 財務企画課 課長代理
ながみね ゆうき 長嶺 祐貴	理学部 3年次 (エコキャン委員長)

東芝メンバー

さかい ひろふみ 堺 博文	しげや まさと 渋谷 真人
たろう かずき 佐藤 一樹	おぼら りゅうたろう 小原 隆太郎
ファシリテーター	
たなか しょうこ 田中 翔子	なかの かずや 中野 啓哉
ふじむら かぜまる 藤原 風丸	おとは しげる 乙葉 茂



第1回ワークショップ開催 8月27～28日

ワークショップ^o 1

チームA ワークショップ^o成果物



ワークショップ 1

チームA シナリオボード

シナリオ

2050年
沖縄のありたい姿

資源やエネルギーが
地産地消され
それらの奪い合い
がない平和な沖縄

健康な食生活の
実現。食品残渣
の家畜飼料化で
豚肉文化が発展

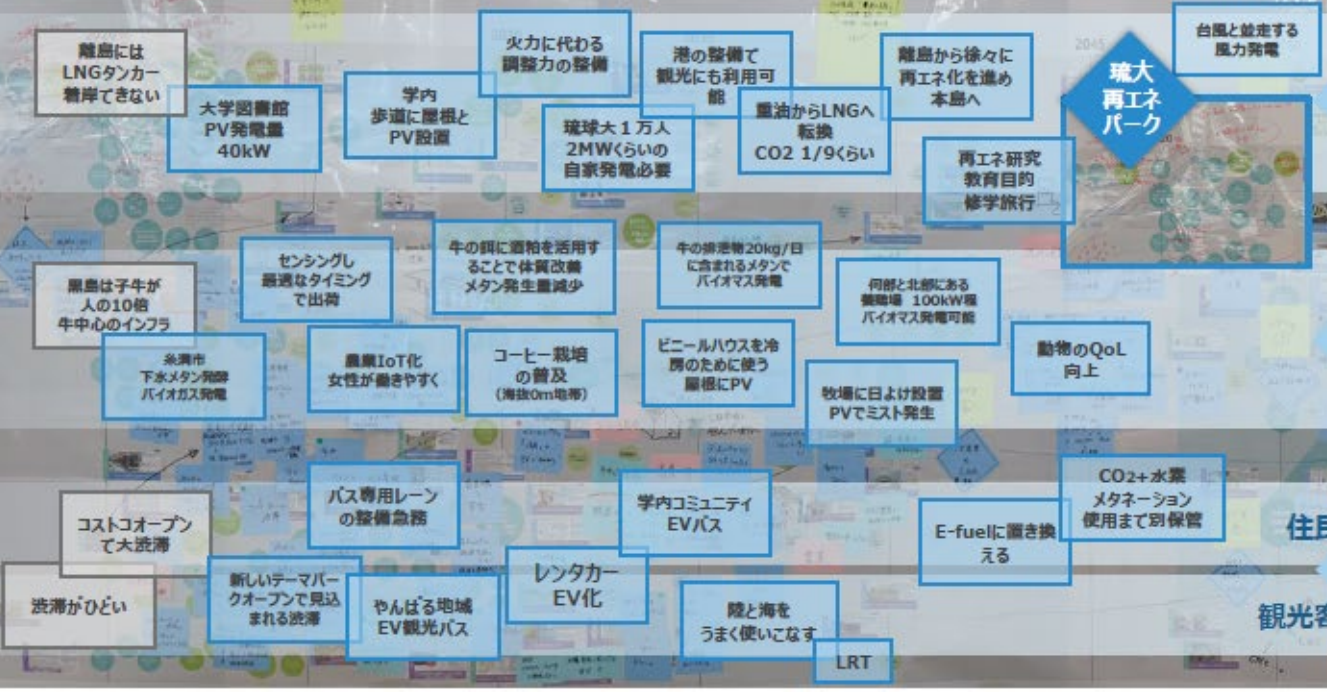
沖縄の資源を
みんなで共有
している意識

沖縄
ならではの
再生可能
エネルギー

一次産業
のCN化

住民
移動
のCN化
観光客

琉大
再エネ
パーク



3つのシナリオ

「沖縄ならではの再生可能エネルギー」「一次産業のCN化」「移動のCN化」

ワークショップ 1

チームB ワorkshop 成果物



ワークショップ 1

チームB シナリオボード

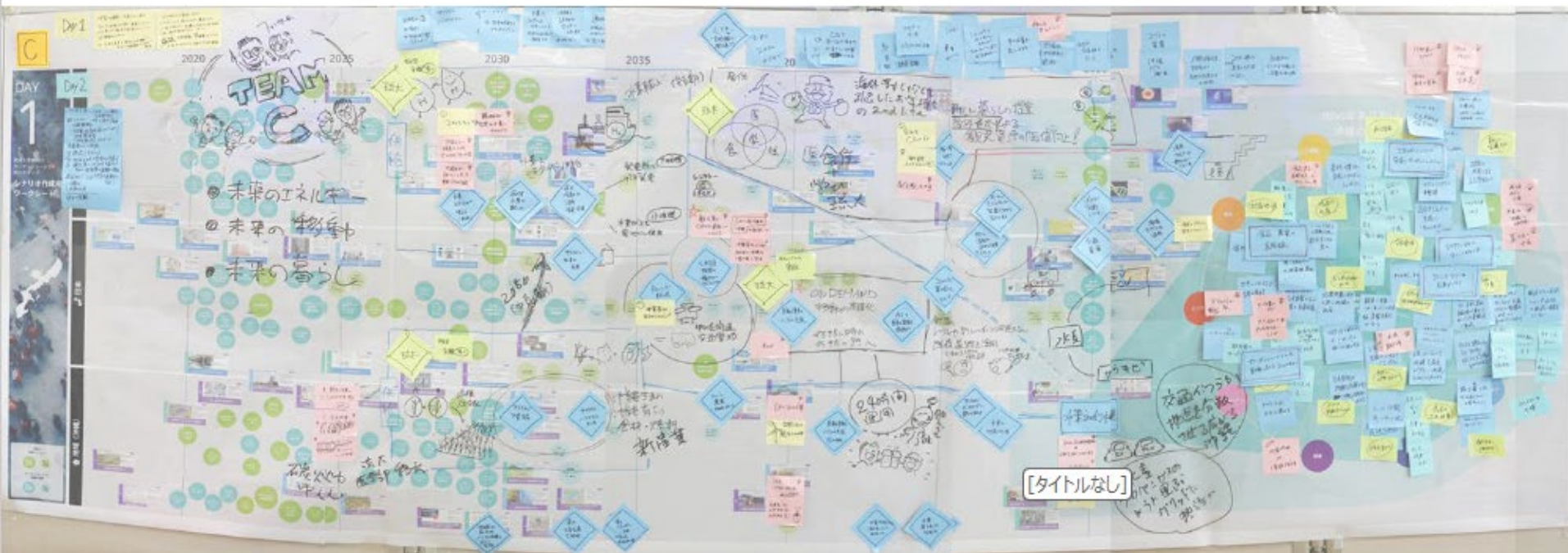


3つのシナリオ

「自立する沖縄」「地域特性を活かした資源が循環する沖縄」「自由なモビリティの沖縄」

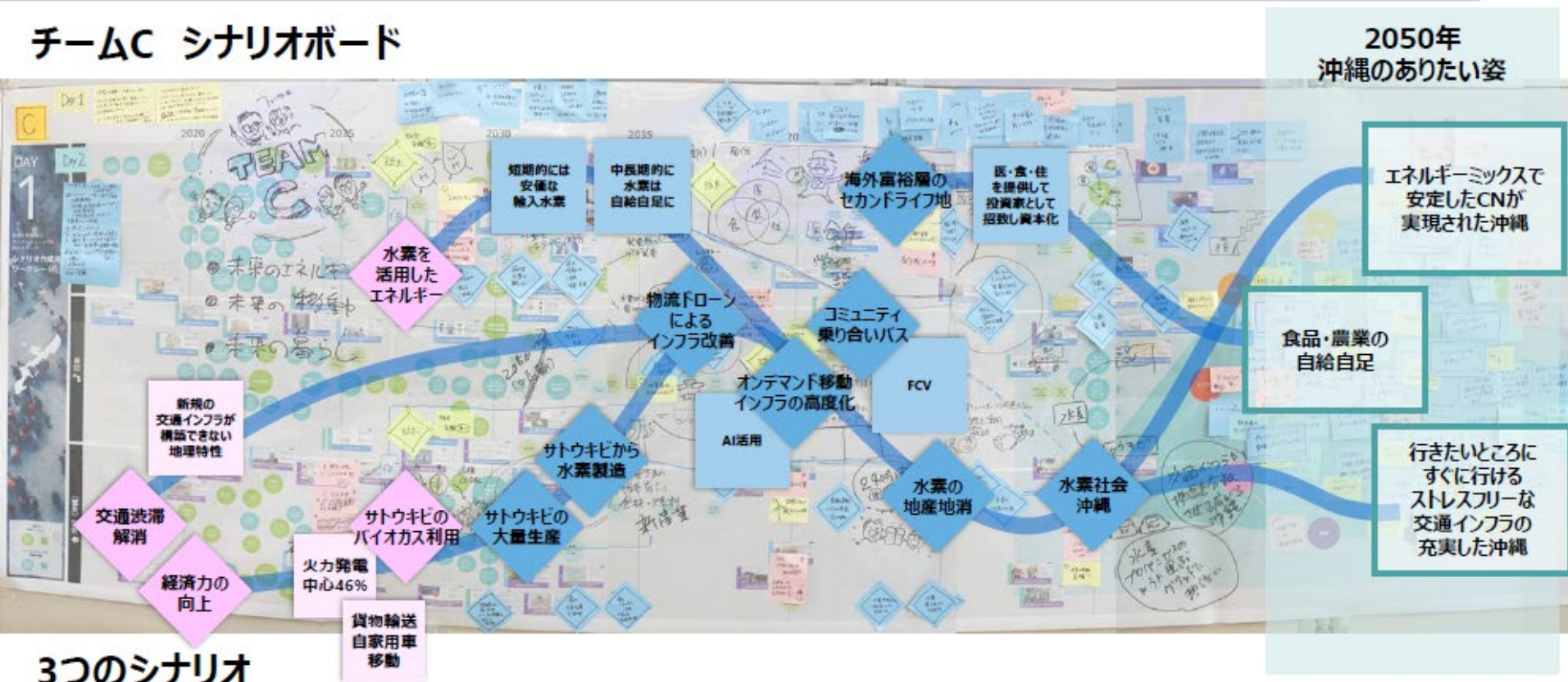
チームC

チームC ワークショップ成果物



ワークショップ 1

チームC シナリオボード



3つのシナリオ

「自立する沖縄」「地域特性を活かした資源が循環する沖縄」「自由なモビリティの沖縄」